

資料 8 別紙 A

平成 29 年度「中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業」

モデルプロジェクト公募要領 別紙

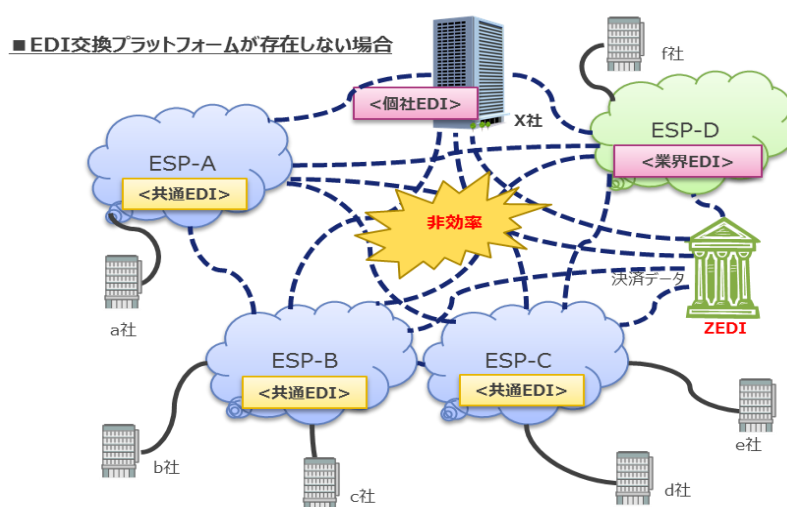
共同利用システム概要
(案)

中小企業・小規模事業者決済情報管理支援事業（以下、「本事業」という。）事務局は、共通メッセージ変換機能、全銀 EDI システム（以下、ZEDI という。）（※）との接続機能を有した各決済・商流情報連携基盤が共通して利用可能なシステム（以下、共同利用システムという。）を本事業にてモデルプロジェクトとして実証検証を実施する EDI・アプリケーションサービスプロバイダー（以下、「ESP」という。）に利用提供します。

※全銀 EDI システム（ZEDI）とは、企業間送金指図において、既存固定長から XML 電文への移行を実現し、EDI 欄を大幅に拡張することで、明細等の内訳情報（金融 EDI）を同時に送信可能とするシステムです。現在、全銀システムの運営主体である全国銀行資金決済ネットワークが構築を進めており、2018 年 12 月の稼働を目指しています。詳細：<https://www.zenginkyo.or.jp/abstract/efforts/smooth/xml/>（全国銀行協会 WEB サイト）

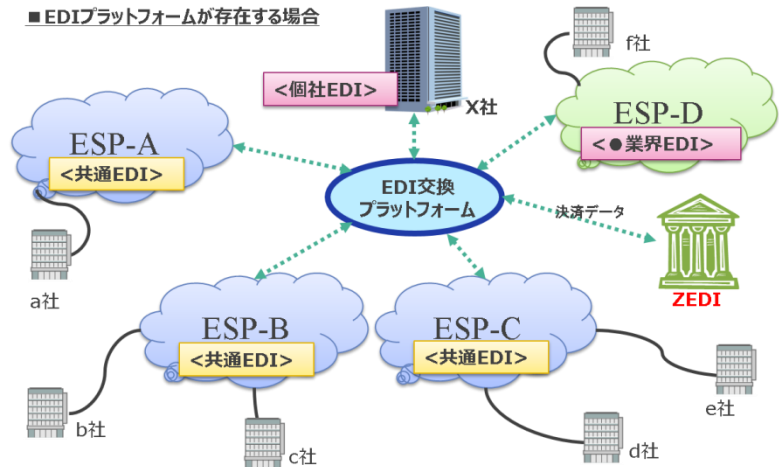
1. 目的

中小企業等における受発注に関しては中小企業共通 EDI（以下、共通 EDI という）で標準化されていますが、既に業界独自の標準フォーマット（業界 EDI）や個社が制定したフォーマット（個社 EDI）など多くのフォーマットが使われています。このため、すべての企業がシームレスな企業間取引を行うためには共通 EDI に対応していない ESP や企業を跨いで相互接続を実現する必要があります。また、決済データを送信する場合は、各 ESP や個社がそれぞれ全銀 EDI システム（以下、ZEDI という。）への接続のシステム対応を行う必要も生じます。その際、各 ESP や個社が個々に相互接続や ZEDI 接続を行うと非効率となります。



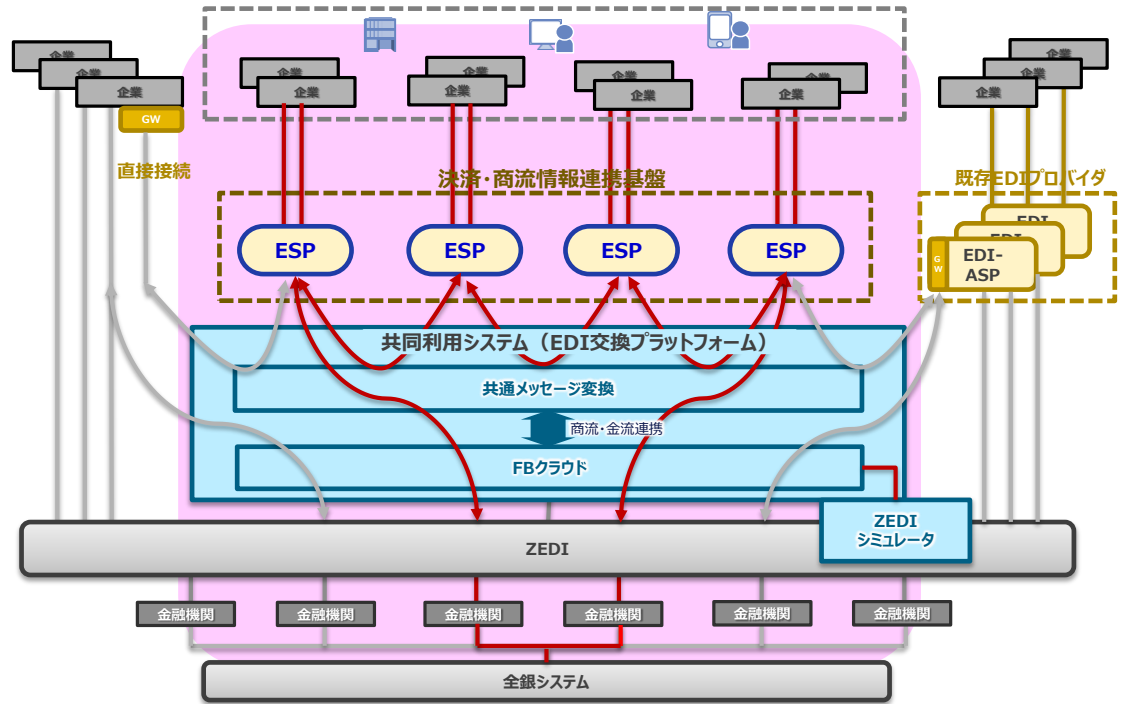
そこで、ESP や企業を中継し HUB となる EDI 交換プラットフォームとして、異なるフォー

マットを取り扱う ESP や個社間で、決済・商流情報の相互連携を実現する ESP 連携機能と、決済を行う際の ZEDI との接続を実現する共同利用システムを提供し、モデルプロジェクトに参加するエンドユーザ企業に対し、決済・商流情報連携基盤プロバイダと共同利用システムが一体となって効率的にサービス提供することを目指します。



2. 共同利用システムの構成

共同利用システムは、決済・商流情報連携基盤同士の情報連携支援機能（共通メッセージ変換機能）と ZEDI 接続機能（FB クラウド機能）で構成します。本実証の全体像と共同利用システムの位置づけ・構成を以下に示します。



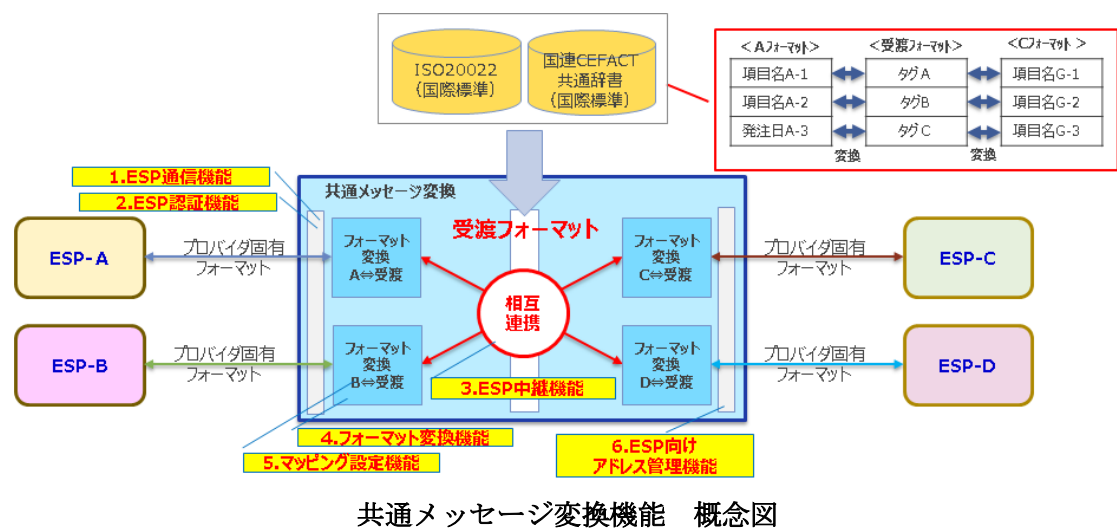
共同利用システムの位置づけおよび構成図

なお、図における ESP の種別や数および接続形態は、本事業における委託先の種別や数および接続形態と関連するものではありません。

3． 決済・商流情報連携基盤同士の情報連携支援（共通メッセージ変換）機能

3． 1 共通メッセージ変換の機能概要

共通メッセージ変換機能では、ESP からの通信、および国際標準に準拠した受渡フォーマットを介したプロバイダ間の異なるフォーマットの相互連携を実現する。共通メッセージ変換機能の概念図ならびに機能概要を以下に示す。



| | 機能 | 機能概要 |
|---|------------|--|
| 1 | プロバイダ通信機能 | ESP と共同利用システムの通信を実現する機能。 回線：インターネット 通信プロトコル：SOAP を用いたサーバー対サーバー接続通信 詳細については、公募要領別紙：「共同利用システム ESP 間連携プロトコル」を参照されたい。 |
| 2 | プロバイダ認証機能 | クライアント証明書を用いてプロバイダを認証する機能。 |
| 3 | プロバイダ中継機能 | 異なる 2 つのプロバイダを中継し、HUB となる相互連携機能。 |
| 4 | フォーマット変換機能 | プロバイダ固有のフォーマットと受渡フォーマットを相互に変換する機能。 |

| | | |
|---|-----------------|---|
| 5 | マッピング設定機能 | プロバイダ固有のフォーマットと受渡フォーマットとのマッピングテーブルを設定する機能。 |
| 6 | プロバイダ向けアドレス管理機能 | 共同利用システムにてプロバイダを一意に特定できるアドレスを管理し、プロバイダの受信サーバーの IP アドレス等に変換する機能。 |

ESP 連携の機能一覧

なお、決済に用いるメッセージの参考として、国際標準準拠の決済用受渡フォーマットに国際標準である国連 CEFACCT および ISO20022 のタグを付加した決済フォーマットのメッセージを公募要領別紙：「共同利用システム 決済メッセージ仕様」に示します。

3. 2 制約・留意事項

本機能は本実証用の共同利用システムにおいて構築されるものであり、今後類似するシステムが提供される場合の機能を定めているものではありません。

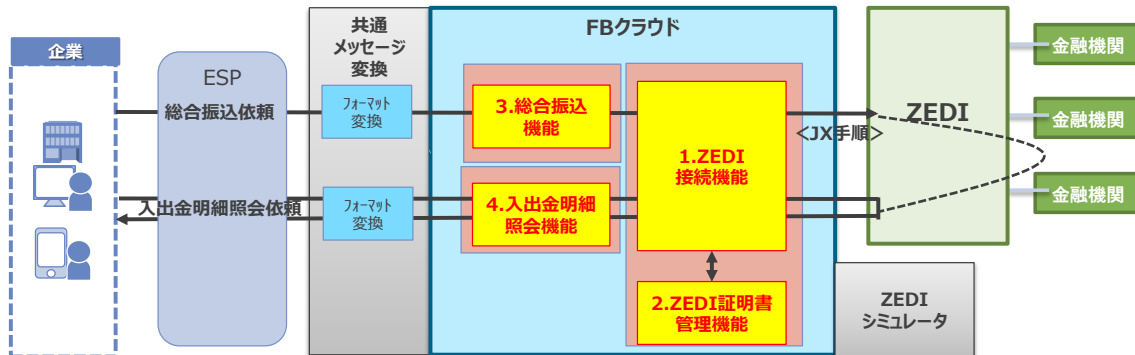
(主な制約・留意事項)

- ESP 間で用いるアドレスは、ESP 間連携プロトコルに規定している形式で、異なる ESP で重複が無いように事務局が調整し、決定します。
- 共同利用システムにアクセスする際に必要となるクライアント証明書とその秘密鍵、共同利用システムが ESP をアクセスされる際に受け取るクライアント証明書の認証に必要なルート証明書は、事務局が提供します。証明書作成は OpenSSL を想定しています。
- 共同利用システムがアクセスする ESP のサーバーに格納するサーバー証明書が必要な場合、事務局が提供します。サーバー証明書を独自に入手される場合は、発行 CA を事務局に提示いただきます。
- フォーマットの基本形式は、ESP 連携機能が自動処理出来るために、XML や固定長など機械的に処理可能な形式を想定しています。
- フォーマットの情報項目の意味付けは、ESP 連携機能が自動処理出来るために、状況に依存せず規定されていることを想定しています。
- フォーマット変換は、原則としてメッセージの情報項目を相互に 1 対 1 対応させて行います。一つの情報項目を分割し複数の情報項目に対応させることは行いません。但し、変換先のフォーマットに対応する情報項目が無いが、変換先のフォーマットに備考的情報項目があれば、その情報項目にまとめて記述し情報伝達は可能となる変換を行います。なお、まとめて記述された情報を自動的に利活用することが困難になることに注意下さい。

4. ZEDI 接続（FB クラウド）機能

4. 1 FB クラウドの機能概要

FB クラウド機能では、各 ESP と ZEDI が接続するために共同利用可能な決済ファイルの生成・読込や通信モジュールを提供します。FB クラウド機能の概念図ならびに機能概要を以下に示す。



FB クラウド機能 概念図

| | 機能 | 機能概要 |
|---|---------------------|---|
| 1 | ZEDI 接続機能 | ZEDI と共同利用システム間の通信を実現する機能。ZEDI と XML データ（Pain.001 および Camt.052）の送受信やエラー通知を行う。 |
| 2 | ZEDI 証明書管理機能 | ZEDI にアクセスする際に用いる証明書を管理する機能。 |
| 3 | 総合振込機能 | 受渡フォーマット形式の総合振込情報を ZEDI の総合振込情報（Pain.001 等）に変換する機能。 |
| 4 | 入出金明細照会機能 | ZEDI の入出金明細照会情報（Camt.052 等）を受渡フォーマット形式の入出金明細照会情報に変換する機能。 |

FB クラウドの機能一覧

3. 制約・留意事項

本機能は本実証用の共同利用システムにおいて構築されるものであり、今後類似するシステムが提供される場合の機能を定めているものではありません。

（主な制約・留意事項）

- ・FB クラウドが扱う業務は「総合振込（FB チャンネル）」および「入出金取引明細（FB チャンネル）」のみとします。これは、ZEDI が提供する取引種別（サービス）は、「総合振込

(Pain. 001)」、「入出金取引明細 (Camt. 052)」、「振込入金通知 (Camt. 054)」がありますが、振込入金通知で取り扱うデータは入出金取引明細でほぼ内包されていることから、本実証においては振込入金通知を対象外としたためです。

- 「総合振込 (FB チャネル)」用のメッセージとして「総合振込 (Pain. 001)」と「総合振込結果 (Pain. 002)」、「入出金取引明細 (FB チャネル)」用のメッセージとして「入出金取引明細 (Camt. 052)」「入出金取引明細依頼 (Head. 001)」に対応します。
- ZEDI と接続するために全銀ネットより発行される実証に用いるクライアント証明書の FB クラウドへの格納は、事務局が行います。そのため入手後速やかに事務局に貸与いただきます。

以上